

第2回 公園づくりに関する市民懇談会

ワークショップ通信

武蔵村山市では、武蔵村山都市核土地区画整理事業で、新たに大小合わせて複数の公園等の整備を計画しています。市の中心核に位置する面積が約6,000㎡もある『(名称仮称)4号公園』について、どのような公園にしていくか、ワークショップ方式で計画案を検討していきます。

第1回ワークショップ(令和3年10月2日)に引き続き、令和3年11月27日に第2回ワークショップを開催しました。今回は、事前に参加者みなさんに現地見学をいただき、『みんなの公園づくり』をテーマに公園アイデア(イラストと文)を描いてくることを宿題としておりました。グループごとに公園アイデアを発表しあい、グループごとに「こんな公園になったらいいな」をテーマに公園デザインについて考えました。

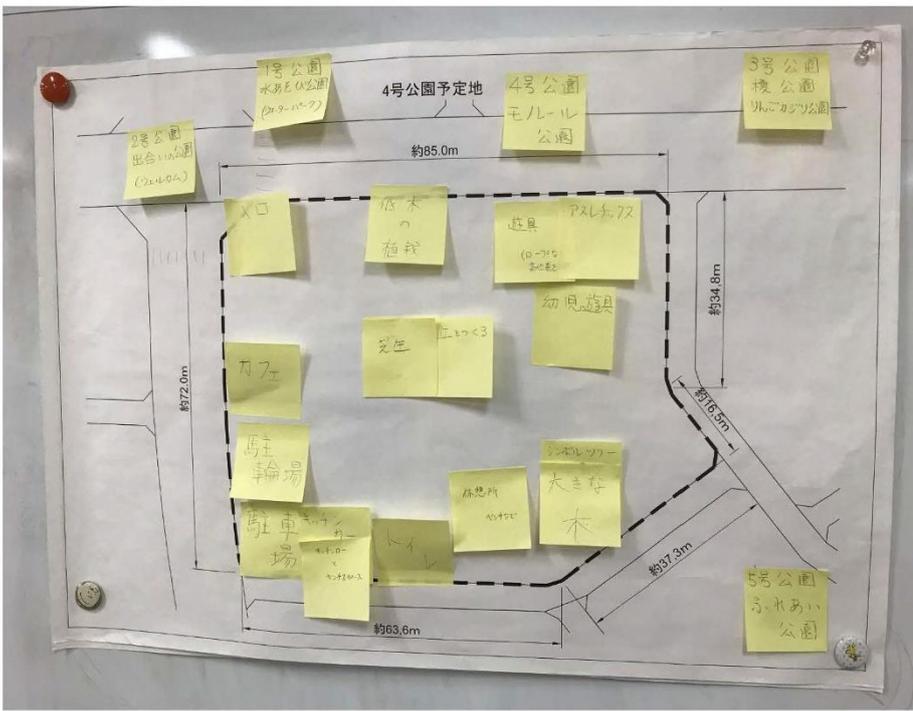
4号公園だけでなく、周辺公園との関連させた案、土地の記憶を活かした案、子どもたちの遊び場の提案など、たくさんの魅力的な公園プランが提案されました。

○ワークショップの様子



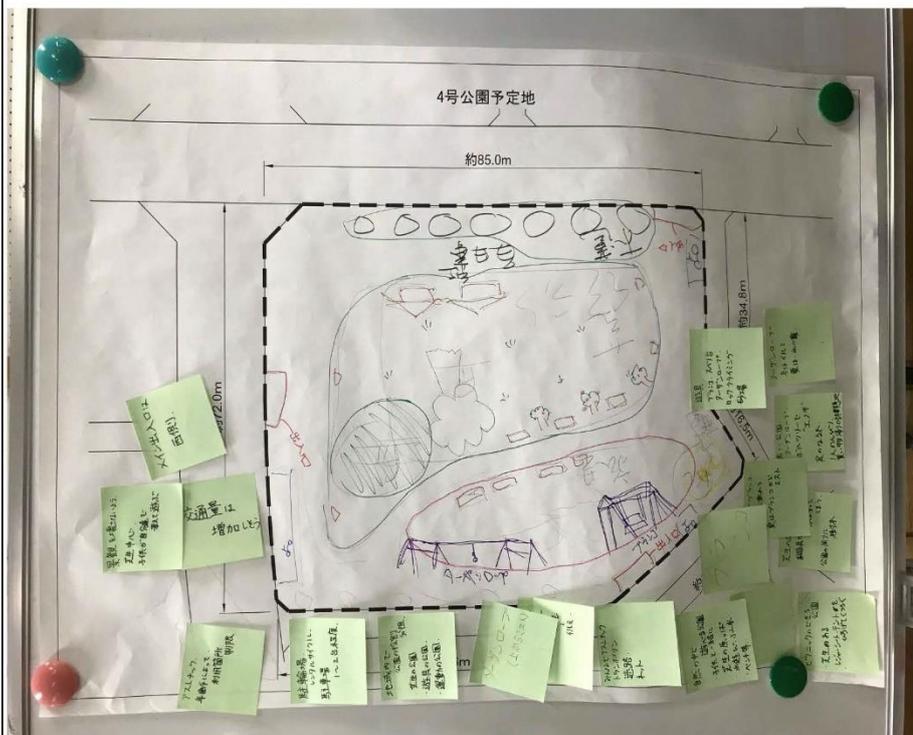
○グループごとの公園アイデア

Aグループ



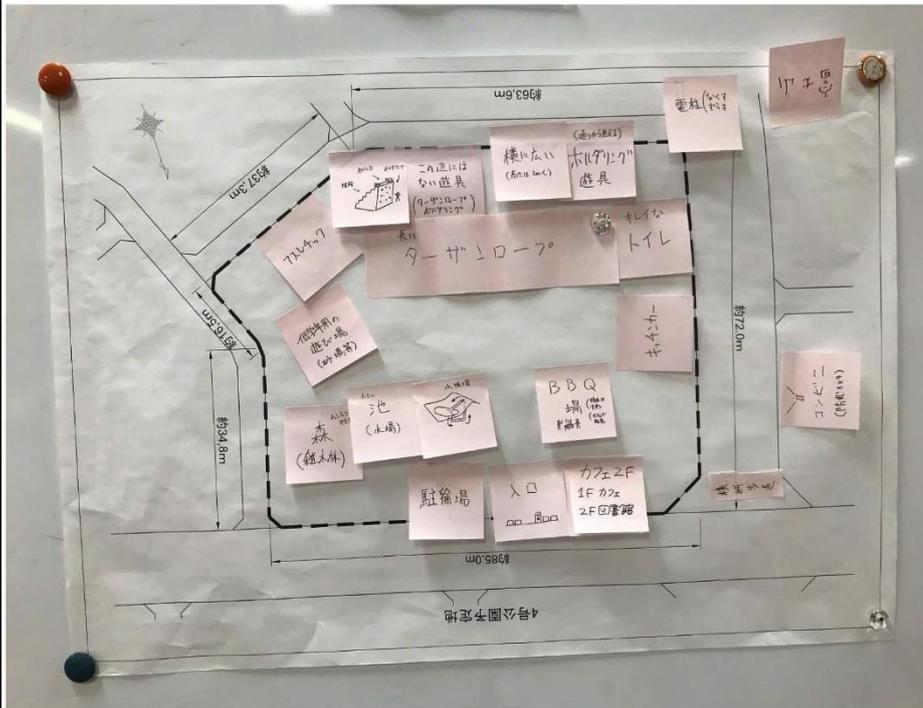
公園案	
付箋内容	<ul style="list-style-type: none"> ・低木の植栽 ・芝生 ・真ん中に丘をつくる ・遊具(ロープなど高低差を利用)、アスレチック、幼児の遊具 ・カフェ ・キッチンカー、ベンチスペース ・駐輪場、駐車場 ・トイレ ・休憩所、ベンチなど ・シンボルツリー、大きな木 ・1~5号公園の名称づけ 1号公園:水遊び公園~ウォーターパーク~ 2号公園:出合いの公園~ウェルカム~(モノレール予定地と近い) 3号公園:えのき公園~りんご祭り公園 4号公園:モノレール公園 5号公園:ふれあい公園
発表意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブとオンリーワンという考えで公園全体をネットワーク化するという考えに着眼をかけた ・1~5号公園それぞれに名称をつけた。市内の人だけでなく、初めて訪れる人にアピールすることを前提とした ・1号公園:敷地沿いに久保の川が流れており、かつての自然的要素が回顧できるような名称にした。噴水や水系の遊具や、敷地の形状にあわせたすべり台等 ・2号公園:待ち合わせ場所として、自動販売機やベンチを配置 ・3号公園:向いにりんご園がある。現状の三本榎史公園の名称を後世に伝えられるような名称とした。現状より広くなるため、ボール遊び等ができることよい。バス停や幹線道路に近いので防災性を持たせた公園にする ・5号公園:既存市街地内にある公園で、既に住んでいる住民と新しい住民がふれあえる場所になるという。高齢者用の健康器具を配置する ・4号公園:シンプルかつ全ての方が集える公園を目指す ・武蔵村山を象徴する場所になる事から、真ん中にシンボルとなる丘を配置する。ミニ狭山丘陵として、公園内で狭山丘陵を感じられる。 ・南側は、生活道路に面しており比較的交通量が少なく、何も施さない空間とする。 ・北側は全体を芝生として、子どもたちが遊べる空間とし、道路沿いに植栽帯のパリアを配置する ・敷地西側全体を歩行者が出入りできる空間とし、西南部の角に駐輪場を配置する。(イベント時にキッチンカーをおスペースとして活用)駐輪場付近にカフェかトイレとベンチ等を配置し、隣接して駐輪場を配置する ・真ん中の丘を囲むように散策路を配置し、高齢者やベビーカーも散策できるようなフラットなものとする。 ・丘にあかれる道をつくり、丘のフスに見晴台となるベンチを設置し、公園内全体を目指す ・南東部の角に、休憩用の日よけにもなる大きな木を配置する ・現地に散策した際に、車の交通があり、各公園へのアクセスには道路・歩道を經由するため、公園単体ではなく、まち全体で安全面を考えると必要だと感じた。 ・来訪者や利用者用に、案内サインを設置し、まち全体を回遊できるといい

Bグループ



公園案	
付箋内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メイン出入口は西側 ・景観を壊さないよう芝生中心 ・子供が自分たちで考えて遊ぶ ・交通量は増加しそう ・アスレチック(年齢によって利用箇所制限) ・駐輪場(レンタサイクル)、駐車場(1~2台程度) ・地域内での公園の役割分担(芝生の公園、遊具の公園、運動の公園) ・ターザンロープ(夏はミスト、冬はイルミネーション)、バイキングブランコ(1) ・ブランコスベリローラー→発電ローラー ・みんなでアスレチック(トランポリン、迷路、ネット) ・自然の中で遊べる公園(子供と一緒に、芝生の原っぱ、水遊び・噴水、ベンチ等) ・ピクニックのできる公園(芝生のある、レジャーシート・テントをひろげてくつろげる) ・遊具(ブランコ、すべり台、ターザンロープ、ロッククライミング、砂場) ・小高い公園 ・シンボルツリーでエノキ ・実なる木 ・一人のんびり(買い物籠りの休憩地) ・ランニングコース ・バイキングブランコ(大人数で乗れる) ・芝生の広場(遊具だと遊び場決まってしまう) ・公園の周りに樹木
発表意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・南側に遊具、中央に芝生広場、北側に植樹の配置とした ・中央の芝生広場には小高い丘を配置した(富士山の眺望) ・北側の樹木は区画整理前にあったサルスベリやモクレンを入れる ・ほかの公園も特色を持たせて、自転車で回れることを考えて駐輪場を配置した ・芝生と遊具のすみわけ(空間的)は、間に散策路等を配置する

Cグループ



公園案

- 付箋内容**
- ・アスレチック
 - ・長いターザンロープ
 - ・ボルダリングができる遊具(横に広く低い)
 - ・低学年用の遊び場(砂場等)
 - ・きれいなトイレ
 - ・キッチンカー
 - ・富士山の景色
 - ・森(雑木林)
 - ・池(水場、水循環)
 - ・BBQ場
 - ・駐輪場
 - ・入口(北側)
 - ・2階建てカフェ(1F:カフェ、2F:図書館)
 - ・電柱はなるべくすくすく(富士山の景色が見れるように)
 - ・コンビニ(防犯カメラ)
 - ・横断歩道(西側道路)

- 発表意見等**
- ・ターザンロープとボルダリングは譲れない
 - ・富士山が見えるように電柱をどかしたい
 - ・食にこだわりがあり、カフェ、キッチンカー、BBQを入れた
 - ・市内で農家の方の販売用
 - ・虫がさわれたり捕まえられたりしたいので、雑木林・池を入れた
 - ・大きな道(西側)から中が見えやすいように配置した
 - ・バスケットゴールは、よくない人が溜まるので抜いている
 - ・安全面で近くに交番やコンビニ(防犯カメラ)があるといいのでは
 - ・いろんな方が遊べる空間に真ん中はスペースを空けている
 - ・ターザンロープとボルダリング以外の遊具(特に幼児用遊具)は、ほかの公園への配置によるすみわけをした

Dグループ



公園案

- 付箋内容**
- ・エントランス広場:自販機、展示ギャラリー
 - ・シンボルゾーン:シンボルツリー、見晴台、イベント広場、防災遊具、踏切り
 - ・キッチンカーゾーン:藤棚、バーゴラ、東屋
 - ・アクティビティ:複合遊具、スケボー、バスケ、ボール遊び、自転車の練習、ボルダリング、ターザンロープ
 - ・健康ゾーン:踏み石、健康器具、足湯、トイレ
 - ・インクルーシブゾーン:誰でも遊べる、車いすでも遊べる
 - ・農業ゾーン:収穫体験、直売所
 - ・駐輪場:ペット用の水飲み場、足洗い場
 - ・ゾーンごとに植栽を変化させる、花壇をつくる
 - ・緑、美のなる木、四季を感じる花、どんぐり
 - ・じゃぶじゃぶ池、芝生広場、木道
 - ・ベンチ(一人掛けで本を読む)・居住地に配慮した静的空間
 - ・防災広場:かまどベンチ、防災井戸、ソーラー照明
 - ・ウォーキング回遊路
 - ・大型遊具が避難施設になる(防災公園、山口、メバル)

- 発表意見等**
- ・土日・祝日やイベント時に、公園内でキッチンカーが営業できるようなスペースを配置
 - ・キッチンカースペースに接して、バーゴラや藤棚、テーブル・ベンチを配置
 - ・シンボルゾーンに、非常時に避難施設となる大型遊具を配置する
 - ・インクルーシブゾーン:障がい者や車椅子利用者等誰でも遊べる遊具を配置
 - ・ゾーンごとに四季折々の植栽や花壇を配置する
 - ・北側のキッチンカースペースを舞浜駅、シンボルゾーンをシンデレラ城に見立てて、5つのゾーンに区分したフューチャーズをイメージした配置とした

- ※もうひと案として、公園を階層化した配置を提案
- ・1Fにドッグランや健康器具を配置
 - ・2Fは、ボール遊びや子供があそべる広場、モノレールの駅から直結するベデスティアンデッキ等を配置
 - ・3Fは、見晴らし台、憩いの広場として富士山等の外の景色をみる